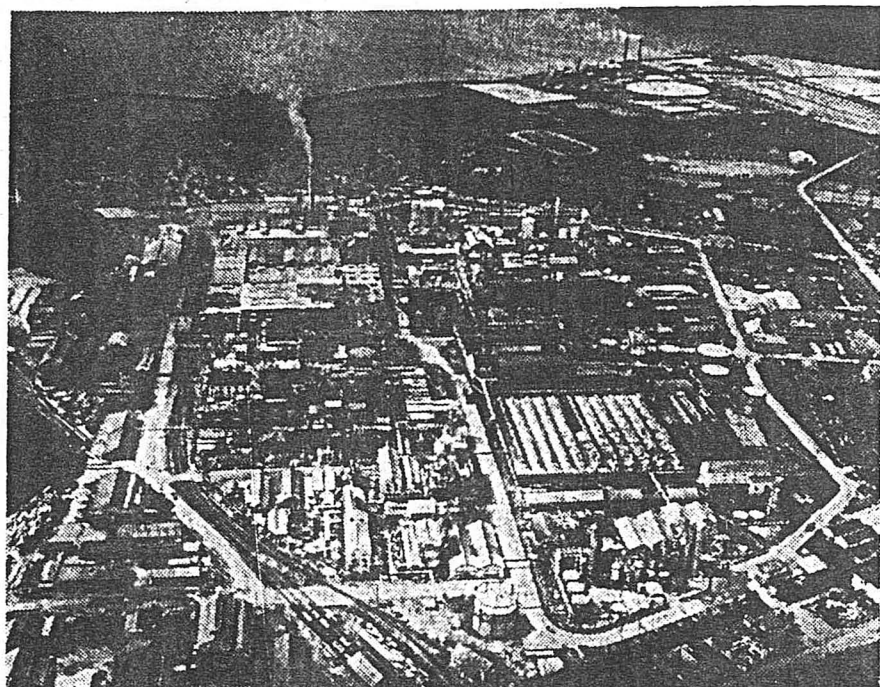


水俣病、公害認定へ

園田厚相が言明



チッソ水俣工場の全景



語る園田厚相

十九日まで結論

企業の社会的責任強調

園田厚相は九日、熊本県の水俣病、新潟県阿賀野川の第二水俣病の有機水銀中毒について、公害認定の方向で十九日までに結論を出すと言明した。厚相は同時に、企業の社会的責任を強調し、今後公害法の体系化を進めていくことを明らかにした。これは厚生省大臣室で毎日東京支社中西編纂部長のインタビューに對したもので、これによって水俣病も十五年前に結論が出るようになった。なお園田厚相は二十日水俣市を訪れ水俣病患者を見舞うことになっている。(三面、一面に連日記事)

「公害認定の方向と時期について」
阿賀野川事件については農林、通産、経産、厚生、各関係省庁の間で、まだ意見の調整がついていないが、水俣病については熊本大学、学術的結論が出ているので、その結論と照り合わせて公害として認定したい。時期は私が熊本へ帰る二十日以前に出すつもりだ。そのあと水俣市の患者を見舞うことになっている。

「認定されたあと会社へはなんらかの指導をするか」
具体的にはまだ決まらなかったが、見舞い金や労働にスライドするものについては、少し色をつけたらどうか、というところはあります。

「企業責任について」
以前、公害問題は通産省がやっていた。これは企業中心のもので、公害は、たまたま発生した問題にすぎなかったのだが、いまでは逆になつて人命の尊厳、健康の増進の立場から公害を取り組まねばならなくなっている。いまようやく体系化の段階に入っており、水俣病も経産省の所管だったものを私が官房長官から引き取った。いまでも阿賀野川関係は科学技術庁の所管で、富山のイタイタイ病は厚生省とバラバラだ。これを早急に一本化し、体系化をはからねばならない。そして早くやりつける。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。

「公害認定の方向について」
一般的に公害行政の方向は、まず人間の健康を考慮する。公害防止施設を作ることではない。公害防止施設を作ることができない場合は、中小企業が出てくるが、これは通産省が対策を講ずべきであつて、厚生行政はあくまで人間の健康の立場を重く、常に公害原因が単一にすることを考えるというのでなく、まず人間の健康を考慮する。